

日本の伝統園芸植

万年青「おもと」









薄葉 (うすは)

万年青「おもと」 若い方には聞いたことがない名前かもしれません。 おもとは、日本特有の園芸植物の一つで、縁起物として新築祝い・ 結婚祝いなど古くから瑞草 (ずいそう) として用いられてきました。 内平に在住の富田特司さん(84才)はおもと栽培の「照邦園」 を父から引継ぎ、昭和41年から本格的に栽培と販売を始めました。 最盛期は全国から購入者が来るほど愛好家も多く、展覧会にも 作品を出展していたそうです。

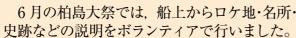
長年に渡り、おもとの普及に取り組まれてきた富田さん。昨年、 照邦園としての店舗は閉店しましたが、個人販売は継続しています。 日頃は、趣味の陶芸や絵画を楽しむかたわら、「生きている限り、 おもとを皆さんに広めて良さを知ってもらいたいですね」と、ま だまだ現役。夢は続きます。

富田特司(とんだひとし)さん 安浦町内平(0823)84-3001

安浦ガイドの会



山本磨郎さん(66)と中本千秋さん(65) は『安浦ガイドの会』の登録ガイドです。 この会は、「平清盛」安浦ロケがきっかけ で訪れる観光客のために立ち上げられまし



ガイドを通じて山本さんは、「普段から見慣れ、見過ごしてきた安浦を再認識しました。 また、沢山の人との出会いも魅力のひとつ」だとか。

中本さんは、「今まであたり前のことが、そんなことがあったんだ!知らなかった!と言っ てもらえるのが嬉しいです」と、お二人は、今後も安浦にもっと興味を持ってもらえる ガイドを目指し、地元を活性化できればと意気込んでいました。

ガイドに興味のある方募集中です。

連絡先: 0823 - 84 - 2261 安浦ガイドの会 山田まで



山本磨郎さん (安登)

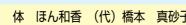
シリーズ 整体 ほん和香



安浦に移り住んで15年の橋本真砂 子さん。

店名は、橋本の「ほん」と子供の和 馬の「和 | と涼香の「香 | をあわせて「ほ ん和香」としました。無痛自然療法で やさしく触れて、そっと揺ら

る」そんな整体をモットーに 頑張っていきます。



安浦駅

安浦町中央北 1-10-14 0823-84-2477

10 時~ 19 時

毎週火曜日・第3日曜日 ●定 休 日

まちづくり情報誌

TANTO

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261(年4回発行

受滅のものづくり 世界一のタワー建設に貢献したクレーン



電波塔として世界一の高さを誇る「東京スカイツリー」(東京都墨田区)が、平成 24年5月に開業しました。

この巨大プロジェクトに、安浦の企業が深く関わっていたことをご存じでしたか? スカイツリー建設に必要不可欠な大型クレーン4基を、IHI 運搬機械(株)安浦工 場が製造しました。当社が造るクレーンのシェアはなんと、業界トップの実績を誇り ます。これまでにない未知の高さに挑むため、安全対策を重視。暴風・地震に耐えう るためマストの強度を上げ、資材を最大で420mを吊り上げる特別仕様のタワーク レーンが完成しました。

「冬はクレーンが凍ったり、工事中、東日本大震災が発生するなど想定していた以 上に過酷な作業でしたが、今は従業員一同誇りに思っています」と山根工場長。

全従業員の7割が地元の人たちで工場を支え 作り上げています。このような高い技術を持つ 工場が安浦にあるのは町民として、自慢でもあ り、ちょっと誇らしいですね。

これまで、横浜ランドマークタワーや新宿都 庁などの高層建築をはじめ、現在も、国内の主 要な高層ビルの建築現場で活躍しています。







安浦ええとこ村プロジェクト始動

安浦町まちづくり協議会では.

遊休農地を「体験型農業」として農園利用するプロジェクトを始動。 南薫造記念館横の農地に「秋蕎麦」を植えるため、7月猛暑のなか、 草刈りを行いました。

8月23日に種まき、11月頃収穫する体験イベントを計画しています。 皆さんにおいしい蕎麦を堪能してもらうため、頑張っています。

工場祭 8月31日(金)17:30~ IHI 運搬機械㈱安浦工場内

野呂川自然学校 野呂川ダム公園周辺 9月15日 (土) 8:00~

いなしふれあい広場

櫂伝馬は30日(日)7:00~10:00

13日(土):19:00~ 14日(日):11:00~ 亀山八幡神社 いなし安浦青空市 10月20日(土)8:00~ いなしふれあい広場

NHK 大河ドラマ「平 清盛」

シリーズ第2回

ロケに携わった安浦人!

安浦漁協



200人を超えるスタッ フ・俳優が柏島や海上 で繰り広げた「平 清盛」 安浦ロケ。朝3時頃から 準備して. 明るいうちに 「撮るだけ撮る」の毎日。

また、日没後も打ち合 わせが目白押しで、いつ も終わるのは深夜の1時 頃。寝る間を割いて撮影 に集中し. 緊張の連続 だったそうです。

そんな彼らの一番の楽しみは「食事」をしている時間なんだとか…。炊き出しの話がきたのは、ロ ケを目前に控えた8月のことでした。

それを聞いた安浦漁協女性部が「私らに任せときんさい!|と快諾。9月11日(日)に、約300食分のカレー を振る舞いました。安浦産の野菜・イチジク・平西精肉店のコロッケをトッピングした。その名も「平 のコロッケカレー。

このカレーが絶品で、松山ケンイチさんら俳優さんも「おいしい」と絶賛! 食を通じてスタッフたちを支えた安浦漁協女性部の心意気で、ロケも無事成功に終わりました。 このカレーは、現在「グリーンピアせとうち」でメニュー化されています。





今が絶好の観察時期

JR 安浦駅の看板にも登場する、小さ くて愛くるしい「ハクセンシオマネキ

繁殖期は6~8月。

安浦では、塩谷・日之浦地区の自然が残る干潟で生息 し、この時期はオスのウェービングが見られます。白い 大きな爪を振り上げる姿が白い扇子を振るように見える

ことから、この名前が付きまし! た。近年、環境汚染などで生息 地が減少。2006年から環境省 の絶滅危惧種となっています。

近付くと素早く巣穴に逃げ こみます。遠くから観察する のがポイントです。



ハクセンシオマネキの群れ



清流「野呂川 | に住む生物を観察・学習し、 アマゴの放流体験もあります。

平成24年9月2日(日) 9:00~13:30

野呂川ダム公園周辺

小学校4年生~中学生まで(親子同伴可)

参加費:無料 定員 25 名まで(先着順) 安浦町まちづくり協議会 0823 - 84 - 2261

サすうら

ラロク 安浦町のまちづくり・話題・イベント情報を日々発信しています!

やすうら夢工房

安浦の民話シリーズ

治承四年 (1180) 安登〜川尻へ通じる 旧浦辺街道 平家打倒をめざし挙兵 した「源頼朝」は、鎌 安登駅 倉に本拠をおき、平家 追討の軍を西国へ派遣 しました。

寿永三年 (1184) 二月,一の谷(神戸須

磨)の合戦で、平氏軍に勝った源氏の大将「源範頼」 は、山陽道を西へと軍を進めて備後国(広島県東部) にやってきました。

しかし、備後国も安芸国(広島県西部)も平家の 領地でしたので、戦の準備をしていました。源氏軍は、 四日市(東広島市西条町)の国分寺あたりに、平氏 軍が集まっていることを耳にしたので、軍を二つに 分けて国分寺、もう一方は瀬戸内海を船に乗って攻 めていきました。

やがて、船が菏代(川尻町)にさしかかった時. 小高い丘に赤い旗が立てられていました。「もしや、 平氏のものでは1と上陸し、一気に攻めていきました。

突然、現れた源氏軍におどろいた平氏軍は急いで 裏山に逃げ込み、足手まといになる女・子どもを斬り、 赤字淵 (川尻町久筋) に投げ捨てると、 三ヶ峠を越 えて, 阿戸(安登)の里に入って, 最後の決戦を行 いました。

後に里の人々は、激しい戦いのあった所を

私たちの住んでいる安浦町は古い歴史を持つ町です。各 地区に集落があり、生活していくなかで、数々の民話や伝説 が生まれてきました。

子から孫へと後世に残る素晴らしい贈り物。各地に残る、 古くから語り継がれてきたお話をシリーズで紹介します。

> 「戦場原」と言って亡くなった多くの戦死者たちの魂 をなぐさめるために、三ヶ峠に塚を建てて「千人塚」 と呼びました。

> 現在、「戦場原」は住宅地になっていますが、三ヶ 峠は昔、周囲をぐるりと山で取り囲まれ、阿戸(安登) の里から隣の河代(川尻)に通うたった一つの峠道 でしたから、平氏軍は地形を頼りに、ここで源氏の 軍を防ぎ、必死に止めようとしたのかも知れません。

また、この戦いで生き延びた平氏の落人は、

二十六人で跡条の山に 隠れ住んだとも言われ、 その地を「二十六平氏」 と呼び, 阿戸 (安登) の 里は長い間、この人た ちの「かくれ里」になっ ていたと言われていま した。



三ヶ峠の千人塚と祠



安登と川尻を結ぶ古道(旧浦辺街道) この道沿いに三ヶ峠と千人塚があります

写真でみる今と記

現在の町並みから、 懐かしい国景をご覧ください。

昔の写真を募集しています!

ご家庭に眠っている昔懐かしい 写真を募集します。

写真は広報誌やホームページで 活用します。

提供いただいた写真は後日返却

安浦町まちづくり協議会

J R安登駅前



昭和 40 年頃の安登駅前



安登国道185号沿



昭和 41 年頃の国道 185 号 勘定神社付近

